

CA Agile Vision™ および CA Product Vision

管理ガイド

Winter 2012



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

目次

第 1 章: 概要	5
CA Agile Vision について	5
CA Product Vision について	6
第 2 章: セットアップ	7
ユーザについて	7
Salesforce.com でのユーザの追加	7
ユーザの追加	8
ユーザ詳細の表示と製品通知の設定	9
ロールについて	10
ロールの作成	10
ロール詳細の表示	11
ロールの編集	11
ロール階層の作成	12
製品について	13
製品の作成または編集	13
製品の詳細の表示	15
製品の削除	15
統合製品の管理方法	16
リリースについて	16
マスタリリース	16
製品リリース	17
マスタリリースの作成	18
マスタリリースの詳細の表示	19
マスタリリースの編集	19
製品リリースの作成	20
製品リリースの編集	22
リリースの削除	24
製品リリースの詳細の表示	25
スプリントについて	25
スプリントの作成	26

スプリントの削除.....	27
スプリント情報の表示.....	28
第 3 章: 設定	29
値をカスタマイズする方法.....	29
カスタム値の作成.....	30
ユーザストーリー、問題、およびカスタム オブジェクトの既定値の設定.....	31
属性のカスタマイズ方法.....	32
カスタム属性の作成.....	32
オブジェクトのカスタム属性の有効化または無効化.....	33
カスタム ステータス属性のマッピング.....	34
リリース バーンダウン チャートの再計算.....	35
リストビューの変更の発行.....	35
[編集]および[詳細]ページのカスタマイズ方法.....	36
ページへのセクションの追加.....	37
ページ上のセクションに対するフィールドの設定.....	38
第 4 章: CA Agile Vision のサードパーティ統合	39
CA Agile Vision のサードパーティ統合について.....	39
Agile Vision サードパーティ統合の有効化.....	39
Agile Vision のサードパーティ統合の無効化.....	40
Agile Vision 製品を Quality Center 製品にマップします。.....	41
付録 A: データのインポート	43
付録 B: アクセス権 (要件管理)	45
Agile Vision アクセス権.....	45
CA Product Vision のアクセス権.....	47
付録 C: Agile Vision Team Edition から Enterprise Edition へのアップグレード	49

第 1 章: 概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision について \(P. 5\)](#)

[CA Product Vision について \(P. 6\)](#)

CA Agile Vision について

CA Agile Vision によって、スクラムの方法論に準ずるプロジェクトを、直観的かつ簡単に管理することができます。Agile チームは、日付、需要、およびキャパシティに基づいて、製品リリースを計画することができます。CA Agile Vision は Web ベースであるため、チームメンバはどこからでもスプリント計画への参加、ステータスの表示および更新が可能です。

CA Agile Vision を使用して、Agile 開発チームは以下を容易に行うことができます。

- タイムボックスアプローチを使用し、需要とキャパシティに応じて、スプリントを作成し、モニタ
- ランクへのロールベースのアクセスをサポートする一方、ストーリーを作成、更新、分解し、それらをチームメンバに割り当て
- 日々のスタンドアップミーティングを容易にする
- バーンダウンチャートの作成
- チームベロシティの計算
- バックログ/タスクのステータスの表示および管理

注: このドキュメントは、CA Agile Vision ユーザがスクラムの方法論および Agile の用語に精通していることを前提にしています。

CA Product Vision について

CA Product Vision を使用して、ビジネス要件を管理することができます。CA Product Vision を使用して、以下の操作を実行できます。

- 要件を作成および編集します。
- 要件をより小さな子要件へ分割し、親子階層を表示します。
- 要件をマージして、単一の要件を作成します。
- 要件を製品、リリース、フィーチャー、ソースおよび ペルソナと関連付けます。
- 要件完了によって要件をリクエストしたソースからの要件の追跡可能性を表示します。
- Agile Vision で、要件の関連付けられたユーザ ストーリーを表示します。

第 2 章: セットアップ

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ユーザについて](#) (P. 7)

[ロールについて](#) (P. 10)

[製品について](#) (P. 13)

[リリースについて](#) (P. 16)

[スプリントについて](#) (P. 25)

ユーザについて

ユーザをスクラム チームのユーザとして CA Agile Vision および CA Product Vision に追加し、ユーザ ストーリーとタスクに割り当てることができるようにするには、事前にユーザを Salesforce.com のユーザリストに追加する必要があります。

[管理]メニューから表示できる[ユーザ]ページには、CA Agile Vision および CA Product Vision で割り当てることができるユーザが表示されます。ユーザのリストは、すべてのユーザ(デフォルト)またはプロジェクト別にフィルタリングできます。

ユーザリストから、以下を行うことができます。

- [ユーザ詳細の表示](#) (P. 9)
- [ユーザの追加](#) (P. 8)

Salesforce.com でのユーザの追加

CA Agile Vision または CA Product Vision でユーザを追加するには、事前に Salesforce.com でユーザを追加し、定義する必要があります。ユーザが利用できるユーザ プロファイルは、Salesforce のライセンスに含まれています。

注: ユーザ プロファイルの詳細については、「管理ガイド」のアクセス権に関する付録を参照してください。

Salesforce.com でユーザを追加するには、システム管理者である必要があります。

Salesforce.com でユーザを追加する方法

1. メニュー バーの[セットアップ]をクリックします。
2. 左側のペインで、[管理者設定]メニューの[ユーザの管理]をクリックします。
3. 右側のペインで、ユーザを追加または編集するオプションをクリックします。
ユーザリスト ページに管理者ユーザが表示されます。すべてのユーザを表示するには、[表示]フィールドで[すべてのユーザ]を選択します。
4. Salesforce.com でのユーザ設定の詳細については、このページのヘルプをクリックしてください。

このリンクから Salesforce.com のヘルプが開きます。

ユーザの追加

スクラム チームにユーザを追加する前に、Salesforce.com のユーザを以下のいずれかとして追加します。

- CA Agile Vision ユーザ
- CA Product Vision ユーザ
- CA Agile Vision および CA Product Vision ユーザ

[ユーザ] ページに、ユーザが CA Agile Vision ユーザか、CA Product Vision ユーザか、または両方のユーザかを示すリストが表示されます。

注: ユーザを CA Agile Vision ユーザまたは CA Product Vision ユーザとして追加するオプションは、ユーザが両方のライセンスを持っている場合にのみ利用できます。

ユーザの追加方法

1. [管理]メニューに移動し、[組織]メニューから[ユーザ]を選択します。
[ユーザ] ページが表示されます。
2. [新規ユーザ]をクリックします。
[ユーザの編集] ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

Salesforce ユーザ

追加するユーザ名を定義します。

CA Agile Vision

ユーザーが CA Agile Vision ユーザかどうかを示します。

CA Product Vision

ユーザーが CA Product Vision ユーザかどうかを示します。

4. [保存]をクリックします。

[ユーザーの詳細]ページが表示されます。このページから、ユーザーの編集、製品通知のセットアップを実行できます。

ユーザー詳細の表示と製品通知の設定

CA Agile Vision の[ユーザーの詳細]ページには、ユーザーの情報が表示されます。これには、ユーザー名、電子メール アドレス、および役職などが含まれます。このページから、割り当てられている製品のユーザーの通知設定を表示できます。これらの設定に基づいて、ユーザーは、製品の変更に関する電子メール通知を受信します。

ユーザーは、自分がメンバになっている各製品について、自分自身の詳細と設定を編集できます。管理ユーザーはすべてのユーザーの設定を編集できます。

ユーザーの製品通知のセットアップ方法

1. [ユーザー]ページから、ユーザーの[表示]リンクをクリックします。

[ユーザーの詳細]ページが表示されます。

2. 以下の設定を表示または編集し、[保存]をクリックします：

更新したら通知

自分が現在割り当てられている製品のいずれかでユーザーストーリー、問題、またはタスクを作成、更新、または削除した場合に、ユーザーが電子メール通知を受け取るかどうかを示します。

既定値: オフ

作成したユーザー ストーリー/問題/タスクが更新/削除されたら通知する

この製品で作成したユーザー ストーリー、問題またはタスクが更新または削除された場合に、ユーザーが電子メール通知を受け取るかどうかを示します。

デフォルト: オン

割り当てられたユーザ ストーリー/問題/タスクが作成/更新/削除されたら通知する

この製品で割り当てられたユーザ ストーリー、問題またはタスクが作成、更新または削除された場合、ユーザが電子メール通知を受け取るかどうかを示します。

デフォルト: オン

チームに割り当てられたユーザ ストーリー/問題/タスクが作成/更新/削除されたら通知する

製品で自分のチームに割り当てられているユーザ ストーリー、問題またはタスクが、作成、更新、または削除された場合に、ユーザが電子メール通知を受け取るかどうかを示します。

既定値: オフ

ロールについて

CA Product Vision で、ユーザに割り当てるロールを作成できます。また、CA Product Vision と CA Clarity PPM が統合されている場合は、CA Clarity PPM からロールをダウンロードできます。

ロールの作成

CA Product Vision でロールを作成する方法

1. [管理]メニューに移動し、[組織]メニューから[ロール]を選択します。
[ロール]リスト ページが表示されます。
2. [新規ロール]をクリックします。

- 以下のフィールドに入力します。

ロール

ロールの名前を指定します。

ロール ID

ロールの一意の識別子を英数字で指定します。

- 以下のいずれかを実行します。
 - 新しいロールを保存してウィンドウを閉じるには、[保存して終了]をクリックします。
 - ロールを保存して別のロールを作成するには、[保存して新規作成]をクリックします。

ロール詳細の表示

[ロール詳細]ページには、ロールに関する情報が含まれます。[ロール]リストページでロールの名前をクリックすると、このページにアクセスできます。

[ロール詳細]ページから、以下を実行できます。

- ロールの名前および ID の表示 (ロールがロール階層の一部である場合は、親ロールも表示)
- [ロール情報の編集](#) (P. 11)
- [ロール階層へのロールの追加](#) (P. 12)
- ロールの削除

[ロール]ページに戻るには、[リストに戻る]をクリックします。

ロールの編集

[ロール詳細]ページから、ロール名または ID を編集できます。

次の手順に従ってください:

- [管理]メニューに移動し、[組織]メニューから[ロール]を選択します。
リストページが表示されます。
- 編集するロールの名前をクリックします。
[ロール詳細]ページが表示されます。

3. [編集]をクリックして、ロールの名前または ID を更新します。
4. (オプション) [親ロール]からロール名を選択して、ロール階層にロールを追加します。
5. [保存]をクリックします。

ロール階層の作成

関連するロールをグループ化するロール階層を作成できます。

ロール階層の例を以下に示します。

- プロジェクト マネージャ
 - アーキテクト
 - 開発リード
 - 品質保証リード

ベストプラクティス: 階層には必要な数のレベルを作成できます。レベルは、各ロールの親を選択したときに決定されます。作成する階層が複雑になる場合は、階層の全体像を紙に描いてから作業を始めてください。

次の手順に従ってください:

1. [管理]メニューに移動し、[組織]メニューから[ロール]を選択します。
リスト ページが表示されます。
2. 階層内の親に割り当てるロールごとに、[編集]をクリックします。
3. [親ロール]フィールドで、ドロップダウンから親を選択します。
4. [保存]をクリックします。

製品について

[製品] ページにすべての製品がリスト表示されます。ビューをフィルタリングしてすべての製品を表示する(デフォルト)か、前回作成された製品で並べ替えることができます。

CA Agile Vision または CA Product Vision を CA Clarity PPM と統合している場合は、[製品] ページから統合製品を表示および管理することもできます。

詳細については、「統合ガイド」を参照してください。

製品の作成時に、自動的に追加されるオプションのプレフィクスと番号を、製品に対して作成されるすべてのユーザストーリーおよびタスクの ID に追加できます。プレフィクスによって、ユーザストーリーまたはタスクに一意性が追加されます。プレフィクスは、英数字と特殊文字から構成される、6 文字以内の一意の文字列である必要があります。

プレフィクスに付属する数字は、ストーリーまたはタスクが作成されるたびに自動的に増分されます。たとえば、製品のプレフィクスが「Test」である場合、新規ユーザストーリーには ID が「Test-1」、「Test-2」のように自動的に割り当てられます。新しいタスクには、「Test-T0」、「Test-T1」のような ID が割り当てられます。製品の作成後は、プレフィクスを変更することはできません。

[製品] ページから、以下のタスクを実行できます。

- [製品の作成](#) (P. 13)
- [製品に関する詳細の表示](#) (P. 15)
- 製品のプロパティの編集
- [統合製品の管理](#) (P. 16)

製品の作成または編集

製品を作成して保存すると、その一意の ID が自動的に生成されます。この ID を使用して、Agile Vision 製品を CA Clarity PPM プロジェクトにリンクできます。製品の作成後、製品プレフィクスを除く任意のプロパティを変更できます。製品を編集するには、[製品] ページから、編集する製品の横の[編集]をクリックします。

新規製品の作成方法

1. [管理]メニューに移動し、[アプリケーション]メニューから[製品]を選択します。
[製品]ページが表示されます。
2. [新規製品]をクリックします。
[製品の編集]ページが表示されます。
3. 適用可能なものとして以下のフィールドを完了するか編集します。

製品名

製品の一意の名前を指定します。

制限: 80 文字

製品プレフィクス

製品名に追加される一意のプレフィクスを定義します。製品の作成後は、プレフィクスを変更できません。

制限: 6 文字

製品オーナー

製品を所有するスーパーユーザまたは Vision ユーザを指定します。CA Agile Vision 製品オーナーは、CA Product Vision 内の製品の製品オーナーでもあります。ユーザ名を選択すると、製品に関連するオブジェクトに対するスーパーユーザ権限がユーザに付与されます。製品オーナーが可能/不可能な操作は、以下のとおりです。

- マスタリリース、リリース、フィーチャー、要件、スプリント、チーム、およびユーザストーリーが作成できます。
- チームに入らなくても製品バックログを表示できます。
- コメント、添付ファイルの追加などの、バックログ アイテムの管理ができます。
- システム管理者によってチームに追加されていない場合は、問題またはユーザストーリーに割り当てられることができません。

要件: システム管理者は、[管理]の下の[ユーザ]ページ上で **Agile Vision** を選択する必要があります。

製品説明

製品の目的および関連情報(ある場合)を定義します。

制限: 32,000 文字

4. [保存]をクリックします。
[製品の詳細]ページが表示されます。

製品の詳細の表示

[製品の詳細]ページには、製品の一部であるリリースおよびスクラム チームなど、製品に関連する情報が含まれています。[製品]リスト ページで[表示]をクリックして、このページにアクセスできます。

[製品の詳細]ページから、以下のタスクを実行できます。

- 製品のプロパティの編集
- [製品の削除](#) (P. 15)
- [リリースの作成](#) (P. 20)
- [リリースの表示](#) (P. 25)
- [リリースの編集](#) (P. 22)
- スクラム チームの作成
- スクラム チームの詳細の表示
- スクラム チームのプロパティの編集

製品の削除

スーパーユーザ権限を持った管理者またはユーザは、製品を削除できます。たとえば、製品の作成に使用された情報が正確でなかった場合、管理者がその製品を削除したい場合があります。

製品を削除するには、以下の条件が満たされる必要があります。

- そのプロジェクトに、リリース、スプリント、またはユーザ ストーリーが含まれていないこと
- そのプロジェクトがアクティブでないこと

統合製品の管理方法

CA Clarity PPM と統合している場合、CA Agile Vision の[製品]ページから統合製品を表示できます。これらの製品は、以下のように管理できます。

- ユーザを製品チームに割り当てます。
- スプリント、ユーザストーリーおよびタスクを作成します。
- リソースをユーザストーリーおよびタスクに割り当てます。
- 作業ログを使用して、タスクの進捗を報告します。

詳細については、「*Agile Vision 統合ガイド*」を参照してください。

リリースについて

CA Agile Vision および CA Product Vision では、以下のタイプのリリースを作成できます。

- マスタリリース。複数の製品にまたがってユーザストーリーを追跡し、管理できます。
- 製品リリース。1つの製品に固有のユーザストーリーを追跡し、管理できます。

マスタリリース

マスタリリースは、1つ以上の製品に関連付けることができます。製品をマスタリリースに関連付けると、複数の製品チームが1つのクロス製品リリースの一部として完了したユーザストーリーを追跡できます。

たとえば、会社 X は自社の 3 つの製品 (A、B、および C) を統合するリリースに取り組んでいます。統合する各製品のユーザストーリーとタスクが以下の製品チームに割り当てられています。

- 製品チーム A。製品 A と B を統合するユーザストーリーを完了します。
- 製品チーム B。製品 B と C を統合するユーザストーリーを完了します。
- 製品チーム C。製品 A と C を統合するユーザストーリーを完了します。

マスタリリース D が作成され、3 つの製品すべてに関連付けられます。会社 X はマスタリリースを使用して、すべてのチームが完了したすべてのユーザストーリーとタスクの進捗状況を監視できます。製品メンバは、ユーザストーリーから関連するマスタリリースを表示できます。

製品リリースをマスタリリースに割り当てると、製品リリース内のすべてのユーザストーリーが自動的にマスタリリースに割り当てられます。製品リリース内のすべてのユーザストーリーがマスタリリースに割り当てられないようにするには、個々のユーザストーリーをマスタリリースに関連付けます。製品がマスタリリースに関連付けられている限り、個別のユーザストーリーをマスタリリースに関連付けることができます。

マスタリリースの編集ページから、製品をマスタリリースに関連付けることができます。この 2 つを関連付けた後は、ユーザストーリーの編集ページから、その製品の個々のユーザストーリーをマスタリリースに割り当てることができます。

1 つの製品を複数のマスタリリースに関連付けることができます。

CA Agile Vision 製品が Clarity プロジェクトに統合されている場合は、CA Agile Vision で Clarity プロジェクトをマスタリリースに関連付けることができます。これにより、マスタリリースに割り当てられたすべてのユーザストーリーとタスクを Clarity から管理できるようになります。

製品リリース

リリース スケジュールを事前に決定する組織もあれば、スプリントの終了時にリリースを決定する組織もありますが、後者が適切です。CA Agile Vision は両方の戦略をサポートします。

どちらのアプローチでも、リリースはスプリントの終了時に発生し、以前のすべてのリリースに含まれるすべてのスプリントで実装されたすべての機能が含まれます。そのため、リリースには 1 つ以上のスプリントが含まれます。

[リリース]ページにすべての製品リリースが一覧表示されます。ビューをフィルタリングして、すべてのリリースを表示(デフォルト)、または作成された最後のリリースを表示できます。

CA Clarity PPM と統合している場合は、[リリース]ページから統合されているリリースを表示、管理することもできます。

詳細については、「*Agile Vision 統合ガイド*」を参照してください。

[リリース]ページから、以下を実行できます。

- [リリースの作成](#) (P. 20)
- [製品リリースに関する詳細の表示](#) (P. 25)
- [製品リリースのプロパティの編集](#) (P. 22)

マスタリリースの作成

マスタリリースの作成方法

1. [管理]メニューに移動し、[アプリケーション]メニューから[マスタリリース]を選択します。

[マスタリリース]リスト ページが表示されます。

2. [新規マスタリリース]をクリックします。

[マスタリリースの作成]ポップアップが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

マスタリリース名

マスタリリースの名前を定義します。

開始日

マスタリリースの開始日を定義します。

終了日

マスタリリースの終了日を定義します。

関連製品

マスタリリースに関連付ける製品を定義します。製品をマスタリリースに関連付けると、その製品のユーザストーリーをマスタリリースに関連付けることができます。

説明

マスターリリースの説明を定義します。

4. [保存して終了]をクリックします。

マスターリリースの詳細の表示

[マスターリリースの詳細]ページには、リリースに関連付けられた製品を含む、マスターリリースに関する情報が含まれます。[マスターリリース]リストページで[表示]をクリックするか、[製品の詳細]ページでリリース名をクリックして、このページにアクセスできます。

[マスターリリースの詳細]ページから、以下を実行できます。

- マスターリリースが CA Clarity プロジェクトにリンクされている場合の表示
- 関連付けられた製品リンクをクリックして製品の詳細を表示
- [マスターリリースの編集](#) (P. 19)
- マスターリリースに割り当てられているユーザストーリーと問題の詳細表示と編集

マスターリリースの編集

リリースが終了しても、マスターリリースの終了日を変更できます。

製品内のユーザストーリーの時間がログに記録されている場合は、マスターリリースからその製品を削除できません。

マスターリリースの編集方法

1. [マスターリリース]リストページから、編集するマスターリリースの[編集]リンクをクリックします。
2. 以下のフィールドを編集して保存します。

マスターリリース名

マスターリリースの名前を定義します。

開始日

マスターリリースの開始日を定義します。

終了日

マスターリリースの終了日を定義します。

関連製品

マスターリリースに関連付ける製品を定義します。

説明

マスターリリースの説明を定義します。

詳細:

[マスターリリース \(P. 16\)](#)

[マスターリリースの作成 \(P. 18\)](#)

製品リリースの作成

注: また、[製品の詳細] ページで [新規リリース] をクリックして、新規リリースを作成することもできます。リリースを作成し保存する際に、その一意の ID が自動的に生成されます。この ID を使用して、このリリースを CA Clarity PPM にリンクできます。

リリースの作成方法

1. [管理] メニューに移動し、[アプリケーション] メニューから [リリース] を選択します。
[リリース] ページが表示されます。
2. [新規リリース] をクリックします。
[リリースの編集] ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

リリース名

新しいリリースの名前を指定します。

制限: 80 文字

開始日

リリースの開始日を指定します。リリースのバーンダウン データが最適になるようにするには、この日付が少なくともリリースの最初のスプリントの開始日と同じくらい早い必要があります。

必須: はい

形式: m/d/yy

アクティブ

プロジェクトがアクティブかどうかを指定します。アクティブでないリリースは、CA Agile Vision 全体でフィルタのオプションとして表示されません。

既定値: アクティブ

マスタリリース

このリリースを関連付けるマスタリリースを定義します。製品がマスタリリースに関連付けられている場合は、このリリースのマスタリリースを選択できます。

製品リリースをマスタリリースに関連付けると、すべての製品のすべてのユーザストーリーが自動的にマスタリリースに関連付けられます。製品リリース内のすべてのユーザストーリーが自動的にマスタリリースに割り当てられないようにするには、個々の製品をマスタリリースに関連付けます。その後、どの製品のどのユーザストーリーをマスタリリースに割り当てるかを選択できます。

製品

製品の一意の名前を指定します。

必須: はい

リリース日

リリースの配布日を指定します。リリース日と開始日は同じにできます。リリースのバーンダウン データが最適になるようにするには、この日付が少なくともリリースの最後のスプリントの終了日と同じくらい遅い必要があります。リリースの開始時点でリリース日を知らないチームは、新規スプリントが追加されると、リリースを更新できます。

形式: m/d/yy

説明

オブジェクトの目的を定義し、追加の関連情報を指定します。

制限: 255 文字

4. 以下のいずれかを実行します。
 - リリースを作成するには、[保存]をクリックします。
[リリースの詳細]ページが表示されます。このページから、リリースプロパティを編集し、リリースのサブ項目としてスプリントを作成できます。
 - リリースを作成し、追加のリリースを作成するには、[保存して新規作成]をクリックします。
リリースが作成され、[リリース編集]ページ上のフィールドがクリアされます。

製品リリースの編集

製品リリースの作成後、スーパーユーザまたは管理者権限を持ったユーザは、リリースの開始および終了日などの任意のプロパティを変更できます。製品リリースの開始および終了日を編集するときは、これらの日付がそのリリースに含まれるすべてのスプリントの開始日と終了日の範囲外にあることを確認してください。

製品のリリース日を変更すると、日数が変更されるので、バーンダウンとベロシティは再計算されます。[スプリントの詳細]および[ダッシュボード]ページ上のチャートも更新されます。

次の手順に従ってください:

1. [リリース編集] ページに、以下の方法のいずれかでアクセスします。
 - [リリースリスト] ページから、編集するリリースの[編集]をクリックします。
 - [製品の詳細] ページの[リリース] セクションで、編集するリリースの[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドを変更して、[保存]をクリックします。

リリース名

新しいリリースの名前を指定します。

制限: 80 文字

開始日

リリースの開始日を指定します。リリースのバーンダウン データが最適になるようにするには、この日付が少なくともリリースの最初のスプリントの開始日と同じくらい早い必要があります。

必須: はい

形式: m/d/yy

アクティブ

プロジェクトがアクティブかどうかを指定します。アクティブでないリリースは、CA Agile Vision 全体でフィルタのオプションとして表示されません。

既定値: アクティブ

マスターリリース

このリリースを関連付けるマスターリリースを定義します。製品がマスターリリースに関連付けられている場合は、このリリースのマスターリリースを選択できます。

製品リリースをマスターリリースに関連付けると、すべての製品のすべてのユーザストーリーが自動的にマスターリリースに関連付けられます。製品リリース内のすべてのユーザストーリーが自動的にマスターリリースに割り当てられないようにするには、個々の製品をマスターリリースに関連付けます。その後、どの製品のどのユーザストーリーをマスターリリースに割り当てるかを選択できます。

製品

製品の一意の名前を指定します。

必須: はい

リリース日

リリースの配布日を指定します。リリース日と開始日は同じにできます。リリースのバーンダウンデータが最適になるようにするには、この日付が少なくともリリースの最後のスプリントの終了日と同じくらい遅いことが必要です。リリースの開始時点でリリース日を知らないチームは、新規スプリントが追加されると、リリースを更新できます。

形式: m/d/yy

説明

オブジェクトの目的を定義し、追加の関連情報を指定します。

制限: 255 文字

リリースの削除

リリースは、スーパーユーザ権限を持ったユーザのみが削除できます。このアクションは、[リリースの詳細] ページで実行されます。一旦削除が確認されれば、それはキャンセルできません。

リリースを削除すると、以下のような結果になります。

- リリースに関連付けられたすべてのスプリントも削除されます。
- リリースおよびスプリントに割り当てられていたすべてのユーザ ストーリーは、割り当て解除されます。
- リリースとスプリントは、[表示] フィルタで表示されなくなります。
- 製品または製品の任意のオブジェクトとの関連付けに、リリースおよびスプリントを選択できなくなります。
- ユーザは、リリースまたはスプリントのチャートを表示できなくなります。

製品リリースの詳細の表示

[リリースの詳細]ページには、リリースの一部であるスプリントを含む、リリースに関連する情報が含まれます。このページは、新規リリースの作成直後に表示されます。[リリース]リスト ページで[表示]をクリックするか、[製品の詳細]ページでリリース名をクリックして、このページにアクセスできます。

[リリースの詳細]ページから、以下のタスクを実行できます。

- [リリースのプロパティの編集](#) (P. 22)
- [リリースの削除](#) (P. 24)
- [スプリントの作成](#) (P. 26)
- [バーンダウン チャートの再計算](#) (P. 35)
- リリースがマスタリリースに関連付けられているかどうかの表示

スプリントについて

[スプリント]ページには、すべての製品に対して作成されたアクティブなすべてのスプリントがリスト表示されます。また、ビューをフィルタリングして、作成された最後のスプリントで並べ替えられたスプリントリストを表示できます。このフィルタ選択は保存され、ユーザが変更するまで、それ以降のページの表示で使用されます。

[スプリント]ページから、以下を実行できます。

- [新規スプリントの作成](#) (P. 26)
- [スプリントの詳細の表示](#) (P. 28)
- スプリントのプロパティの編集
- スプリントの無効化およびアクティブ化
- [スプリントの削除](#) (P. 27)

スプリントの作成

[スプリント]ページまたは[リリースの詳細]ページからスプリントを作成できます。

スプリントの作成後、スプリントが完了していなければ、スーパーユーザ権限を持つユーザはスプリントの開始日と終了日など任意のプロパティを編集できます。スプリント日付を変更すると、バーンダウンとベロシティが再計算されます。[スプリントの詳細]および[ダッシュボード]ページ上のチャートも更新されます。[スプリント]ページ上でスプリントを編集するには、編集するスプリント名の隣の[編集]をクリックします。

新規スプリントの作成方法

1. [管理]メニューに移動し、[アプリケーション]メニューから[スプリント]を選択します。

[スプリント]ページが表示されます。

2. [新規スプリント]をクリックします。

[スプリント編集]ページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

スプリント名

スプリントの名前を指定します。

必須: はい

制限: 80 文字

開始日

スプリントの開始日を指定します。スプリントの開始日と終了日は、リリースの開始日と終了日の範囲内にある必要があります。

必須: はい

形式: m/d/yy

製品

製品の一意の名前を指定します。

必須: はい

アクティブ

スプリントがアクティブかどうかを指定します。Agile Vision 全体で、アクティブでないスプリントはフィルタのオプションとして表示されません。

既定: アクティブ

終了日

スプリントの終了日を指定します。スプリントの開始日と終了日は、リリースの開始日と終了日の範囲内にある必要があります。

必須: はい

形式: m/d/yy

リリース

スプリントが関連付けられているリリースの名前を指定します。

必須: はい

ゴール

スプリントの予測結果を指定します。

制限: 3000 文字

リスク

スプリントの成功または結果に影響する要因を指定します。

制限: 2000 文字

ふりかえり

スプリントのふりかえりの詳細を定義します。

4. [保存]をクリックします。

[スプリントの詳細]ページが表示されます。

スプリントの削除

スーパーユーザ権限を持ったユーザ、または製品オーナーのみがスプリントを削除できます(他のユーザには、[削除]ボタンは表示されません)。スプリントを削除すると、以下のような影響があります。

- スプリントに固有なすべてのスプリント データが削除されます。
- スプリントに割り当てられていたすべてのユーザ ストーリーが割り当て解除されます。

- スプリントに割り当てられていたチームがあれば、削除されます。
- スプリントは、バーンダウン チャートレンダリングのリストには表示されません。
- スプリントは、バーンダウン チャートには表示されません。

スプリント情報の表示

[スプリントの詳細]ページには、割り当てられたチームおよびスプリントのクローズ時に追加されたふりかえりのコメントを含む、スプリントに関する情報が含まれます。このページは、新規スプリントの作成直後に表示されます。このページは[スプリント情報]ビューから表示されます。以下のページから[スプリントの詳細]ページにアクセスできます。

- **Product Vision** メニューまたは[管理]メニューから[リリース詳細]ページ
- **Agile Vision** メニューから[スプリント バックログ & チャート]ページ
- [管理]メニューから[スプリント]ページ
- **Agile Vision** メニューから[仮想ウォール]ページ

[スプリントの詳細]ページから、以下のタスクを実行できます。

- 名前、開始日と終了日、ゴール、リスク、ふりかえりコメントなど、スプリントプロパティの編集
- [スプリントの削除](#) (P. 27)
- チャートの再計算
- 既存のスクラム チームの表示
- スクラム チームのプロパティの編集
- 新規スプリント チームの作成
- 利用可能な時間メトリックの表示
- ふりかえりコメントの参照

第 3 章: 設定

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[値をカスタマイズする方法](#) (P. 29)

[属性のカスタマイズ方法](#) (P. 32)

[リストビューの変更の発行](#) (P. 35)

[\[編集\]および\[詳細\]ページのカスタマイズ方法](#) (P. 36)

値をカスタマイズする方法

いくつかの値は、すべての製品に既定で用意されています。システム管理者は、アプリケーションレベルでオブジェクトフィールドに対する新しいカスタム値を作成することもできます。作成したカスタム値は、ドロップダウンリストから選択できる値として適切なページに表示されます。

ほとんどのカスタマイズは、Salesforce.com セットアップ ページにリンクする[セットアップ]リンクをクリックして行います。

CA Product Vision および CA Agile Vision でカスタマイズできるフィールドの例を以下に示します。

CA Product Vision のフィールド:

- カテゴリ
- 要件の状態
- 製品状態

CA Agile Vision のフィールド:

- 優先度。製品に関連付けられた問題、ユーザ ストーリー、およびエピック用の値が含まれます。
- 状態。製品に関連付けられた問題、タスク、ユーザ ストーリー、およびエピック用の値が含まれます。

カスタム値は、以下の方法で設定できます。

- [値の特定の属性を編集する。](#) (P. 30)
- 値を他の値に置き換える。

- [デフォルト値を指定する。](#) (P. 31)
- 翻訳ワークベンチを使用して値の名前を変更する。
- リスト内の値の順序を変更する。
- 値を削除する。
- 値をすべてのサポート対象言語に変換する。

ベスト プラクティス:

- 既存の属性を編集してラベルを変更する代わりに、[管理者設定]メニューの翻訳ワークベンチを使用して値の名前を(英語に)変更します。
- バーンダウンとベロシティのチャートには、クローズと同等の値が必要です。新しい値を作成し、[管理]メニューのステータス マッピング]を使用してステータスをマップできます。

詳細:

[属性のカスタマイズ方法](#) (P. 32)

[オブジェクトのカスタム属性の有効化または無効化](#) (P. 33)

[カスタム値の作成](#) (P. 30)

カスタム値の作成

カスタム値の作成方法の詳細については、[Salesforce.com](#) の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。このマニュアルは、[セットアップ]リンクをクリックして[個人設定]を表示し、[ヘルプ]リンクをクリックすると表示されます。

カスタム値の作成方法

1. CA Agile Vision または CA Product Vision のヘッダ領域で、[セットアップ]リンクをクリックします。

Salesforce.com の[個人設定]ページが表示されます。

2. [アプリケーションの設定]メニューから[作成]をクリックし、[オブジェクト]を選択します。

[カスタム オブジェクト]ページが表示されます。

3. カスタマイズするオブジェクト名 (たとえば、[ユーザ ストーリー]) をクリックします。
[カスタム オブジェクト] ページが表示されます。
4. カスタム フィールド および 関係の セクションで、値をカスタマイズするフィールド ラベルにスクロールします。
5. フィールド ラベルをクリックします。
[カスタム フィールド] ページが表示されます。
6. [Picklist Values] セクションにスクロールし、必要に応じて値をカスタマイズします。

ユーザ ストーリー、問題、およびカスタム オブジェクトの既定値の設定

ユーザ ストーリー、問題、または任意のカスタム CA Agile Vision オブジェクトの既定値を設定する方法

1. CA Agile Vision のヘッダ領域で、[セットアップ] リンクをクリックします。
Salesforce.com の [個人設定] ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定] メニューから [作成] をクリックし、[オブジェクト] を選択します。
[カスタム オブジェクト] ページが表示されます。
3. 既定の設定をするオブジェクト名 (たとえば [ユーザ ストーリー]) をクリックします。
ユーザ ストーリーの [カスタム オブジェクト] ページが表示されます。
4. [レコード タイプ] セクションにスクロールし、[ユーザ ストーリー] レコード タイプのラベルをクリックします。
[レコード タイプ] ページが表示されます。
5. 既定値を選択する選択リスト フィールドの横の [編集] をクリックします。
6. [既定値] ドロップダウンから値を選択して保存します。

属性のカスタマイズ方法

システム管理者は[セットアップ]ページで、アプリケーションレベルで **CA Agile Vision** オブジェクトのカスタム属性を作成できます。たとえば、新しいステータスフィールドをユーザ ストーリー オブジェクトに追加できます。

作成したカスタム属性は、既定ではすべての製品で利用可能です。製品ページに移動し、属性を特定の製品で有効にすると、その属性はすべての製品で利用可能ではなくなります。他の製品でその属性を使用する必要がある場合は、カスタム属性のページでその属性を他の製品に追加します。

1つの製品の1つのオブジェクトあたり最大で **25** 個のカスタム属性を作成できます。カスタム属性は以下のオブジェクトに追加できます。

- 承認基準
- エピック
- 問題
- マスタ リリース
- リリース
- スプリント
- ストーリー依存性
- タスク
- チーム
- チーム メンバ
- テーマ
- ユーザ ストーリー

カスタム属性の作成

カスタム属性の作成方法の詳細については、*Salesforce.com* の「ヘルプ&トレーニング」を参照してください。このマニュアルは、[セットアップ]リンクをクリックして[個人設定]を表示し、[ヘルプ]リンクをクリックすると表示されます。

カスタム属性の作成方法

1. CA Agile Vision または CA Product Vision のヘッダ領域で、[セットアップ]リンクをクリックします。
Salesforce.com の[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[作成]をクリックし、[オブジェクト]を選択します。
[カスタム オブジェクト]ページが表示されます。
3. 属性をカスタマイズするオブジェクト名をクリックします。
[カスタム オブジェクト]ページが表示されます。
4. カスタム フィールドおよび関係のセクションにスクロールし、必要に応じてフィールドをカスタマイズします。

ベスト プラクティス: ユーザ ストーリーまたは要件オブジェクトのステータス値に対してカスタム属性を作成する場合は、[管理]メニューから[\[ステータスマッピング \(P. 34\)\]](#)ページを使用して、カスタム ステータスをオープンまたはクローズに指定します。ステータスをオープンまたはクローズに指定することにより、バーンダウンおよびベロシティのチャートの正確性が保証されます。

オブジェクトのカスタム属性の有効化または無効化

カスタム属性を特定の製品で有効にすると、その属性はすべての製品で利用可能ではなくなります。他の製品でその属性を使用する必要がある場合は、その属性を他の製品で有効にします。

オブジェクトからカスタム属性を削除または無効化するには、属性を選択して[削除]をクリックします。

製品オブジェクトのカスタム属性を有効にする方法

1. [管理]メニューをクリックし、[カスタム属性]を選択します。
カスタム属性のページが表示されます。
2. カスタム属性を有効にする製品およびオブジェクトを選択します。
そのオブジェクトで有効になっている既存のカスタム属性が表示されます。

3. [新規カスタム フィールド]をクリックします。
ポップアップが表示されます。
4. 既存のカスタム フィールド名を選択して保存します。
選択したフィールドがフィールド ラベルのリストに表示されます。

カスタム ステータス属性のマッピング

ユーザ ストーリーまたは問題のオブジェクトに対するカスタム ステータスを作成するとき、オブジェクトの状態がオープンであるかクローズであるかを指定する必要があります。バーンダウンおよびベロシティのチャートの正確性はオブジェクトのステータスに依存します。

たとえば、「Done」という新規ステータスを作成する場合、ステータスが「クローズ」を意味するように指定することで、チャートがオブジェクトの作業の完了時間をバーンダウンさせることができます。

次の手順に従ってください:

1. [管理]を開き、[設定]の下の[ステータス マッピング]をクリックします。
[ステータス マッピング]ページが開き、カスタム ステータス属性のリストが表示されます。
2. マッピングする値について[マップ済みの値]フィールドをクリックし、プルダウンリストから[オープン]または[クローズ]を選択します。
3. [保存]をクリックします。

重要: 現在のスプリントにユーザ ストーリーおよび問題が存在する場合は、[チャートの再計算]をクリックしてスプリント情報をリフレッシュし、バーンダウンおよびベロシティのチャートの再入力を行います。

リリース バーンダウン チャートの再計算

スプリント内のリリース バーンダウン チャートを再計算できます。再計算は、ステータスのカスタム値をオープンまたはクローズにマップしており、チャート用に時間またはポイントをバーンダウンする必要がある場合に推奨されます。

ユーザストーリーまたは要件のカスタムステータスが変更されると、チャート内の実際のポイントおよび時間の合計が変更されます。たとえば、「完了」という状態の値がオープンと認識されており、ユーザがそれをクローズに変更した場合、スプリントの再計算によって、ユーザストーリーに関連付けられている時間およびポイントがバーンダウンされます。再計算では、スプリント内のユーザストーリーの最新のステータスが使用されます。

ユーザストーリーの残りのポイントは、クローズされたストーリーのポイントを引くことによって計算されます。タスク上の残りのポイントは、タスクに関してログに記録された時間を引くことによって計算されます。バーンダウン チャートの再計算は、アクティブなスプリント内でのみ、かつリリース バーンダウンに含まれるユーザストーリー数が 1000 未満である場合のみ可能です。

以下のラインが再計算されます。

- バーンアップライン - スプリントのゴール達成に必要な作業ユニットの日時増加率を示します。
- 見積もりライン - スプリントの元の見積もり時間数
- 完了時間ライン - スプリントに対する完了した時間数
- ベロシティチャート内のベロシティ

リストビューの変更の発行

リストビューに対して行った変更を発行して、組織内の全ユーザからそれらを参照できるようにすることができます。これらの変更には、オブジェクトまたは属性ラベル、選択リストラベル、および翻訳の変更、または、カスタム属性の削除などが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](https://salesforce.com) にログインします。
2. [管理]メニューから[リストビューの発行]ページを開きます。

3. [発行]をクリックします。

リストビューに加えた変更が、組織内の他のユーザに配布されます。

[編集]および[詳細]ページのカスタマイズ方法

以下のプロパティを追加、編集、削除することによって、ページの外観を変更できます。

- セクション
- フィールド
- セクション見出し

変更はシステムレベルで行われ、すべてのユーザに適用されます。セクションとフィールドの名前はビジネス ニーズに合わせて変更できます。削除または名前変更された既定のセクションやフィールドを元に戻したい場合は、それらを復元できます。

変更できるのは、編集および詳細ページのプロパティ部分のみです。詳細ページ上の関連するリストセクションは、プロパティの一部でない限り変更できません。設定できる編集および詳細ページは以下のとおりです。

CA Vision 製品	設定可能な詳細または編集ページ
CA Agile Vision	<ul style="list-style-type: none">■ ユーザストーリー■ タスク■ 問題■ スプリント■ 製品■ リリース
CA Product Vision	<ul style="list-style-type: none">■ ソース■ 製品■ リリース■ 要件

プロパティページをカスタマイズするには、スーパーユーザまたはシステム管理者である必要があります。CA Agile Vision のスーパーユーザは CA Agile Vision のページのみをカスタマイズできます。CA Product Vision のスーパーユーザは CA Product Vision のページのみをカスタマイズできます。Vision のスーパーユーザは CA Agile Vision と CA Product Vision の両方のページをカスタマイズできます。

ページへのセクションの追加

次の手順に従ってください:

1. [管理]メニューに移動し、[設定]メニューから[プロパティ表示]を選択します。
2. [表示]フィールドで、設定するプロパティビューを選択します。
プロパティビューのセクションがリストに表示されます。
3. [新規セクション]をクリックし、以下のフィールドに入力します。

セクション ID

セクションの一意的識別子を英数字で指定します。数字、文字、およびアンダーラインのみを使用して ID を作成します。

ヘッダ ラベル

セクションのヘッダに表示される名前を指定します。名前を指定しなかった場合は、セクション内のフィールドがセクションを示すマークのない状態でページ上に表示されます。

単一の列レイアウトを使用

セクションで使用するレイアウトを 1 列と 2 列のどちらにするかを指定します。

既定値: 未選択

位置

ページ上の他のセクションに対するこのセクションの位置を指定します。各セクションは割り当てられた順序で表示されます。位置を選択しなかった場合、このセクションにはこのページで選択できる最大値が割り当てられます。

4. [保存]をクリックします。

ページ上のセクションに対するフィールドの設定

次の手順に従ってください:

1. [管理]メニューに移動し、[設定]メニューから[プロパティ表示]を選択します。
2. [表示]フィールドで、設定するプロパティビューを選択します。
ページのプロパティビューのセクションがリストに表示されます。
3. [レイアウトの設定]をクリックします。
ウィンドウが開き、表示されているページのセクションのリストが表示されます。
各セクションには、利用可能フィールドと選択済みフィールドのリストボックスが含まれています。
4. 各セクションで、[利用可能]リストボックスから表示するフィールドを選択し、
[選択済み]リストボックスにドラッグします。
1つのフィールドを1つのページセクションにのみ表示できます。あるセクションでフィールドを選択すると、そのフィールドは他のセクションで利用できなくなり、他のセクション用のリストボックスに表示されなくなります。
5. [保存]をクリックします。

第 4 章: CA Agile Vision のサードパーティ統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision のサードパーティ統合について \(P. 39\)](#)

[Agile Vision サードパーティ統合の有効化 \(P. 39\)](#)

[Agile Vision のサードパーティ統合の無効化 \(P. 40\)](#)

[Agile Vision 製品を Quality Center 製品にマップします。\(P. 41\)](#)

CA Agile Vision のサードパーティ統合について

Agile Vision を設定して、以下のサードパーティと統合できます。

- CA Clarity PPM。従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方で、Agile 環境で要件を作成および管理できます。
- JIRA。ユーザストーリーおよび問題を一箇所から管理します。各ユーザストーリーの問題に関するバックログおよびレポートで、問題を追跡します。
- HP Quality Center (Quality Center)。各ユーザストーリーから製品品質を直接追跡します。

詳細については、「[Agile Vision 統合ガイド](#)」を参照してください。

Agile Vision サードパーティ統合の有効化

Agile Vision と以下のサードパーティ問題管理およびトラッキング ツールとの統合を有効にできます。

- JIRA
- HP Quality Center

Agile Vision のサードパーティツールとの統合を有効にする方法

1. [管理]メニューをクリックし、[設定]メニューから[統合]を選択します。
[統合の詳細]ページが表示されます。
2. 以下のフィールドに入力します。

JIRA との統合

JIRA との統合が有効かどうかを指定します。このチェックボックスがオンになっている場合、JIRA からインポートされる問題の詳細ページに[JIRA で表示]フィールドが表示されます。

JIRA URL

Issue Sync Service を使用して JIRA で作成され CA Agile Vision にインポートされた問題に対して、JIRA サーバの URL を定義します。問題が JIRA で同期される場合、問題の詳細ページ上の[JIRA で表示]フィールドにこの URL が表示されます。CA Agile Vision にログイン中に、この URL をクリックして、JIRA で問題を表示できます。

例: <http://jira.ca.com/browse/> (ここで、*jira.ca.com* はホスト名を表わし、*browse* は問題が存在するディレクトリを表わします)。

Quality Center と統合

Quality Center との統合が有効かどうかを指定します。

3. [保存]をクリックします。

Agile Vision のサードパーティ統合の無効化

いつでも、Agile Vision とのサードパーティ統合を無効にすることができます。

注: [統合]ページで統合オプションを選択解除しても、CA Agile Vision のサードパーティツールに関連するフィールドが非表示になるだけです。このアクションは、バックグラウンドで実行される同期ジョブに何の影響も及ぼしません。問題とケースは、サードパーティツールから継続して更新されます。統合を完全に無効にするには、サードパーティツールから同期ジョブを無効にする必要があります。

詳細については、「*Agile Vision 統合ガイド*」を参照してください。

Agile Vision のサードパーティツールとの統合を無効にする方法

1. [管理]メニューをクリックし、[設定]メニューから[統合]を選択します。
[統合の詳細]ページが表示されます。
2. 目的に応じて、以下のチェックボックスを選択解除します。
 - JIRA との統合
 - Quality Center と統合
3. [保存]をクリックします。

Agile Vision 製品を Quality Center 製品にマップします。

CA Agile Vision 製品を Quality Center プロジェクトにマップする前に、QC 統合を有効にするように Agile Vision を設定します。

プロジェクトをマップした後に、Quality Center でこのプロジェクトを削除すると、このプロジェクトは CA Agile Vision 内のマッピングリストから削除されます。

Agile Vision 製品を Quality Center に マップする方法

1. [管理]メニューをクリックし、[アプリケーション]メニューから[製品]を選択します。
[製品]ページが表示されます。
2. [新規製品]をクリックするか、または既存のプロジェクトの[編集]リンクをクリックします。
3. [HP Quality Center]セクションで、[この製品のマップ先]ドロップダウンから[Quality Center]プロジェクトを選択します。
4. [保存]をクリックします。

付録 A: データのインポート

Force.com によって提供される Data Loader を使用して、データを一括してインポートできます。データのインポートには、CSV ファイルを使用してください。Data Loader をダウンロードするには、管理者またはスーパーユーザの権限が必要です。

注: 文書化された時点で、以下の手順は正確でした。ただし、Data Loader は Force.com のアプリケーションであるため、Force.com によるアプリケーションの変更によって、この手順が使用できなくなる場合があります。

データのインポートを行うために Data Loader をセットアップする方法

1. ヘッダで[セットアップ]をクリックします。
Salesforce.com の[セットアップ]ページが表示されます。
2. [管理セットアップ]メニューから[データ管理]をクリックします。
[データ管理]ページが表示されます。
3. [データ管理]セクションで、[Data Loader のダウンロード]をクリックします。
4. Data Loader のインストール
5. Data Loader を開始し、[キャンセル]をクリックして[ようこそ]ページをクローズします。
6. [設定]をクリックし、[設定]を選択します。
[設定]ウィンドウが表示されます。
7. 以下の情報を入力して、[OK]をクリックします。

サーバ URL

`https://login.salesforce.com`

プロキシ ホスト

会社のプロキシの詳細

プロキシ ポート

会社のプロキシ ポート

プロキシ ユーザ名

会社のプロキシ ユーザ名

プロキシ パスワード

会社のプロキシ パスワード

8. ユーザ名とパスワードを使用してログインします。

注: 参照オブジェクトの ID を取得するか、詳細ページで ID を表示するには、オブジェクトをエクスポートし、ID カラムを参照します。

付録 B: アクセス権 (要件管理)

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Agile Vision アクセス権 \(P. 45\)](#)

[CA Product Vision のアクセス権 \(P. 47\)](#)

Agile Vision アクセス権

以下のユーザ プロファイルが CA Product Vision で利用可能です。

スーパーユーザー

このプロファイルを持つユーザは、CA Product Vision データに対する管理者権限を持っていますが、Force.com オペレーティング環境に対する管理者権限は持っていません。スーパーユーザは、[管理]メニューにリストされているフィーチャーを使用して、以下のタスクを実行できます。

- 製品メンバシップに関わらず、以下を表示、作成、編集、または削除できます。また、スーパーユーザには、チームのメンバであれば、その製品に参加する権限があります。
 - 製品
 - リリース
 - スプリント
 - チーム
- 製品チーム内であれば、以下を表示、作成、編集、または削除できます。
 - エピック
 - ユーザストーリー
 - 問題
 - タスク
 - テーマ
 - システム管理者
 - 製品オーナー
 - 一般ユーザ

システム管理者

このプロフィールを持つ人には、以下タスクを実行する権限があります。

- 新規の Salesforce.com ユーザの作成
- Agile Vision ユーザの作成
- 任意の製品を作成し、すべての側面を管理

製品オーナー

このプロフィールを持つ人には、製品メンバシップに関わらず、以下を表示、作成、編集、削除する権限があります。また、スーパーユーザには、チームのメンバであれば、その製品に参加する権限があります。

- リリース
- スプリント
- チーム
- エピック
- ユーザストーリー
- 問題
- テーマ

製品オーナーは、製品の作成または Vision ユーザの追加ができません。

基本 CA Agile Vision ユーザ

以下タスクを実行する権限があります。

- 製品チームのメンバとして製品に参加します。
- メンバになっている製品、および関連するリリースとスプリントを表示します。
- エピック、ユーザストーリー、問題、タスクおよびテーマを作成、編集、削除します。
- チームで 1 回、特定のチーム属性 (たとえばベロシティ、ポイントおよび仮想ウォール カラー マッピング) を編集します。

基本的なユーザは、[ホーム]、[ダッシュボード]、[バックログ]、[スプリントバックログ & チャート]などの、製品に基づいたデータをフィルタできるページ上で、メンバになっている製品のみを選択できます。[スプリントトラッキング]メニューから、[スプリントバックログ & チャート]、[仮想ウォール]、[スプリント情報]、および[Chatter フィード]機能の参照および使用が可能です。

アクセス権限情報の詳細については、Force.com org の管理者に連絡してください。

CA Product Vision のアクセス権

以下のユーザプロフィールが CA Product Vision で利用可能です。

スーパーユーザー

このプロフィールを持つユーザは、CA Product Vision データに対する管理者権限を持っていますが、Force.com オペレーティング環境に対する管理者権限は持っていません。スーパーユーザは、[管理]メニューにリストされているフィーチャーを使用して、以下のタスクを実行できます。

- ユーザの追加
- CA Product Vision セットアップの設定

製品オーナー

このプロフィールを持つ人には、製品メンバシップに関わらず、以下を表示、作成、編集、削除する権限があります。また、スーパーユーザには、チームのメンバであれば、その製品に参加する権限があります。

- リリース
- フィーチャー
- 要件
- スプリント
- ユーザストーリー

製品オーナーは、製品の作成または Vision ユーザの追加ができません。

ユーザ

このプロファイルを持つユーザは、以下のタスクを実行できます。

- 製品、リリースおよびフィーチャーの作成および管理
- 要件の作成および管理
- ソースとペルソナの作成および管理

CA Agile Vision と CA Product Vision を併用している場合、ユーザは CA Agile Vision ページを参照し、[Agile Vision]メニューから以下の任意のタスクを実行するため、製品に割り当てられている必要があります。

- テーマの作成、編集、削除
- ユーザストーリーおよびタスクの作成、編集、管理
- スクラムチームの編集
- スプリントへの参加

付録 C: Agile Vision Team Edition から Enterprise Edition へのアップグレード

以下の詳細については、support.ca.com にある Agile Vision の「リリースノート」を参照してください。

- CA Agile Vision Version 1.5 および 1.7 から Version 1.8 にアップグレードする方法
- CA Agile Vision Version 1.8 から Version 2.0 にアップグレードする方法